

自己点検表

1. 教員個別表

フリガナ 氏 名	チョン ボンジン 千 凡 晋	職 名 人間学部	准教授 子ども教育学科	取 得 学 位 (大学名) 東京学芸大学	教育学博士 (取得年月) 2013 年 3 月
-------------	-------------------	-------------	----------------	-------------------------	----------------------------

2. 教育・研究業績表

(1) 過去5年間の教育業績

教育実践上の主な業績	年月 (西暦)	概 要
【教育内容・方法の工夫】 ①児童文化財「人形劇」に関する理解・実践力の向上&地域貢献活動としての実践	2021年4月 ～現在	「子ども発達総合演習Ⅱ」「子ども発達総合演習Ⅲ」「子ども発達総合演習Ⅳ」では学生の共同製作・実践活動として人形劇の構想・製作・出前公演を実施している。当授業では児童文化財としての人形劇の理解を深め、学生間のアクティブラーニングを通してやりたい人形劇を構想し、台本作成、人形の製作、BGM や人形劇の背景など、人形劇を実施する上で必要なすべてを手作りするように指導している。人形劇を近隣の保育・教育施設に出向き、子どもの前で公演する活動を取り入れていることで、学びの成果を通して保育実践力の向上、地域貢献活動の実践を図っている。
②児童文化財「手作り絵本」に関する理解・実践力の向上	2019年4月 ～現在	「子ども発達総合演習Ⅲ」「子ども発達総合演習Ⅳ」では学生の個人の制作活動として手作り絵本の制作を行い、絵本展示会を開いている。学生が作りたい絵本の内容、ねらいを立てた上で、様々な材料の特性を活かして製作できるように指導している。また、大学の図書館と連携をし、図書館のロビーで絵本展示会を開催しているが、学生自らが展示会の計画から準備、実践することを経験することができるように、指導、支援を行っている。
③アクティブラーニングによる学び合いの実践	2018年4月 ～現在	幼稚園教諭免許資格取得に関わる「保育内容 (表現 (造形))」と小学校教員免許資格に関わる「初等教育教科法 (図画工作)」では、乳幼児から小学生まで、子ど

<p>④ICT の活用を通じた学習効果の向上と学びの成果の共有</p>	<p>2018年4月 ～現在</p>	<p>もの造形表現を支援・指導するために必要な理論且つ実践的学びを行った。現行の保育所保育指針・幼稚園教育要領・学習指導要領に基づき、造形活動の目標と内容の理解を図りながら、子どもの発達特性を考慮し、子どもの造形活動を援助するための支援や指導法を身に付ける。両授業では、学生主体のアクティブラーニングを用い、個別発表やグループワークによる成果物「保育・教育現場で活用できる造形活動のアイデア集」と「図画工作教科書分析シート集」とを作成し、学生全員に配布した。授業の後半にて各自がテーマを決めて模擬保育・模擬授業を行うことで実践力の向上を図った。</p> <p>「子どもと造形 A」と「子どもと造形 B」とで、学生全員は製作した作品を用いて、各自のポートフォリオ (B4～A3判のファイル) の作成を手掛けている。「BAND」というアプリケーションを取り入れ、各授業で製作した作品を載せるようにすることで、学生同士で自由に且つ気軽に鑑賞できるように心かけた。特に子どもと造形 Aにて、作った作品を用いた動画作成も行わず、ICTの活用も取り入れている。また、ポートフォリオを作成する上で、製作した各作品に対する解説書(技法名、製作の手順、支援・指導上の類似点、異年齢児や他のテーマに応用できる活動)をまとめることで、体験した造形活動に対する学びの成果を深めた。15回目の授業では学生のポートフォリオの鑑賞会を通して振り返りの時間を設け、学生同士の学び合いを図っている。</p>
<p>⑤学びの成果を用いた地域貢献</p>	<p>2018年4月 ～現在</p>	<p>「子どもと造形 A」ではグループワークにより段ボール箱を用いた遊具の製作に取り組んでいる。製作された遊具は毎年近所の保育・教育現場に寄贈している。寄贈しに行く際には製作にかかわった1年生の中、希望者を連れていき、子どもとの交流を図っている。学びの成果を子どもに還元することにより学生に自分らの学びの成果を地域貢献に活かせることを意識させる同時に、保育者養成課程と保育・教育現場との連携も充実させている。</p>

<p>⑥SDGs と関連付けた実践力の向上と保育現場との連携</p> <p>⑦学生主導による総合的な表現力の向上</p> <p>⑧造形表現プログラムの考案と発信方法の工夫</p> <p>【教育方法・教育実践に関する発表・講演】</p> <p>①個人研究による成果発表</p>	<p>2018年4月～現在</p> <p>2020年4月～現在</p> <p>2019年～現在に至る</p>	<p>「子ども発達総合演習Ⅰ」では学生主導のアクティブラーニングを用い、食育やSDGs と造形活動を関連付けた実践テーマの設定、実践案の構想、事前準備を行い、近隣の協力園で実践を行っている。実践後の振り返りを行い、保育者としての実践力の向上を図っている。自らが構想した実践案を保育現場で実践することに対する学生の満足度と保育所からの評価が高い。</p> <p>身体・音楽・造形担当の教員により実施している。学生の総合的な表現力の向上を目指し、学生主体により発表会を開催することを主な内容・方法としている。2019年度からは観客として近隣の保育所の子どもをお呼びし、実施した。発表会を準備した学生はもちろん観客として参加した子ども、保育所関係者からも好評で会った。その授業での成果を研究発表、論文などを通してまとめている。2020年度はコロナ禍の状況を踏まえ、総合的な表現力を高めるために、学生主体のプログラムの作成とその実践を行った。</p> <p>人間発達センター研究助成により「家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発」をテーマに研究を実施した。その成果を「子ども発達総合演習Ⅰ～Ⅳ」にて学生指導に結び付けて実践している。2021年からは学生と一緒に構想・考案した造形表現活動プログラムを子ども、保護者、保育者向けに発信することを目的に YOUTUBE「造形遊びの遊び」を開設・運営し、関連コンテンツをアップデートしている。また、そのプログラムをまとめて紙面上の冊子を製作している。</p> <p>子どもの造形活動を支援・指導することに関わる教育実践（領域・指導法）をまとめ、関連学会における口頭発表と研究ノート、研究論文として投稿を行っている。（その詳細は業績に記載）</p>
---	--	--

②共同研究の成果発表	2019年～ 現在に至る	同学科の教員と共同研究を取り組み、音楽・身体・造形を合わせた総合的な表現活動の授業実践における研究発表と論文投稿を行った。また、同研究メンバーで外部の研究助成金（公益財団法人日本教育公務員弘済会奨励金）を受け、研究を実施した。その成果を学会で発表した。現在、その成果を論文として執筆中である。
③保育者を対象とする研修	2019年～ 現在に至る	上記の「④保育実践力の向上と保育現場との連携」に関連して協力している園の要望でその保育園の職員研修にて、保育所で実践できる造形活動に関する研修を年に1-2回程度実施している。また、2022年度は「宮城県子ども総合センター」の依頼で、県の幼児・児童関連の施設の職員を対象とする児童文化財の研修を担当した。
⑨4年制大学における韓国語教育の「Cultural Intelligence」としての意義とその取り組み	2022年6月	4年制大学における韓国語講座の意義、実践方法について駐仙台韓国教育院が開催しているシンポジウムにて発表を行った。当発表をまとめて、本学の紀要第28号に掲載した。

(2) 過去5年間の研究業績

I 研究活動						
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または発表 の年月（西暦）	発行所、発表雑誌 （巻・号数）等の名称	共著者名 （共著の場合）	編者名と当該執筆 者数（編著の場合）	該当頁数
【学位論文】						
1. 初等学校における絵による心理診断事例研究	単著	2001. 11	高麗大学教育大学院美術教育専攻修了論文（修士学位論文）			A4版（99頁）
2. 日本と韓国における「学習指導要領」の変遷に関する比較研究－小学校「美術科」を中心に－	単著	2006. 3	東京学芸大学大学院教育学研究科美術教育専攻美術科教育コース修了論文（修士学位論文）			A4版（71頁）
3. 「韓国の初等教育における第1次教育課程『美術科』に関する研究－図画・工作・書の教育	単著	2013. 3	東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科芸術系教育			A4版（415頁）

<p>に関する日韓比較を中心にー」</p> <p>【論文】</p> <p>1. H. ガードナーのMI理論のアジアにおける受容と展開ー中国、韓国、フィリピンの比較分析（査読付き）</p> <p>2. 韓国と日本との学習指導要領の比較からみた「毛筆による文字教育」（査読付き）</p> <p>3. 神様の導き</p> <p>4. 保育実践力の育成を目指す授業内容・方法の研究ー食育と造形表現活動とを結び付けた実践を通してー（査読付き）</p> <p>5. アクティブラーニングを中心とした「保育表現技術」の授業実践の事例Ⅰー身体・音楽・造形の総合的な表現活動を通じた保育実践力の育成を目指してー（査読付き）</p> <p>6. 自然環境を活かした遊びから芽生える子どもの自発的且つ自主的な造形表現・遊びの可能性ー山形県天童東幼稚園での事例を通してー（査読付き）</p> <p>7. 小学校教員養成における図画工作科の教材・指導法の研究Ⅰー粘土類を用いた授業実例を通してー（査読付き）</p> <p>8. 共働き世帯の親子で取り組む造形表現・遊び</p>	<p>共著</p> <p>単著</p> <p>単著</p> <p>単著</p> <p>共著</p> <p>共著</p> <p>単著</p> <p>単著</p>	<p>2012.2</p> <p>2012.3</p> <p>2020.3</p> <p>2020.9</p> <p>2020.9</p> <p>2021.9</p> <p>2022.3</p> <p>2023・3</p>	<p>講座修了論文（博士学位論文）</p> <p>東京学芸大学紀要 総合教育科学系Ⅰ 第63集</p> <p>美術科教育学会『美術教育学』第33号</p> <p>仙台白百合女子大学カトリック研究所『論集』第24号</p> <p>人間発達研究センター紀要『人間の発達』第14号</p> <p>人間発達研究センター紀要『人間の発達』第14号</p> <p>人間発達研究センター紀要『人間の発達』第15号</p> <p>大学美術教育学会『美術教育学研究』第54号</p> <p>大学美術教育学会『美術教育学研究』第55号</p>	<p>渋谷英章、他</p> <p>仁藤喜久子、他</p> <p>伊藤清華、千凡晋</p>	<p>渋谷英章他（6名）</p> <p>仁藤喜久子、他（3名）</p>	<p>76～78、80～82</p> <p>301～314</p> <p>115～123</p> <p>53～65</p> <p>39～51</p> <p>37～45</p> <p>193～200</p> <p>209-216</p>
--	---	---	---	--	-------------------------------------	---

<p>の活動の効果—活動前後のアンケート調査を通して—（査読付き）</p>						
<p>9. 幼小接続期における教育課程の日韓比較研究Ⅰ—領域「表現」・「芸術経験」を中心に—（査読付き）</p>	共著	2024. 3	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第3号		千凡晋・四家昌博	3～10
<p>【研究ノート】 1. 幼稚園・小学校における曼荼羅（マンダラ）模様を用いた自然物による造形遊び・表現の可能性</p>	単著	2020. 3	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』18号			44～47
<p>2. 小学校教員養成における図画工作科の教材・指導法の研究の試み—紙粘土と情報機器（カメラ）を用いた授業事例を通して</p>	単著	2021. 3	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』19号	四家昌博、他	四家昌博、他（3名）	46～49
<p>3. 4年制大学における第2外国語（韓国語）教育の意義—韓国語の学習意欲の向上を目指した授業実践を通して（査読付き）</p>	単著	2024. 3	仙台白百合女子大学『紀要』第28号			51～68
<p>【研究報告】 アクティブラーニングを中心とした「保育表現技術」の授業実践の事例Ⅱ—領域（表現）・保育内容（表現）と関連付けて—（査読付き）</p>	共著	2020. 10	日本児童学会『児童研究』第99巻	四家昌博、千凡晋		48～58
<p>【実践報告】</p>						

1. 保育所における食育と関連付けた領域（表現） の実践－魚をテーマとした造形活動を中心に－	単著	2020. 3	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』18号			48～51
2. 絵本を用いた国際理解の試み－講演会「ようこそ！韓国絵本の世界へ」を通して－	単著	2022. 2	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第1号			89～94
3. 幼稚園教育実習指導の実践－模擬保育を通じた学生の学び－	共著	2022. 2	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第1号	四家昌博・千凡晋		23～30
4. 幼稚園教育実習指導の実践Ⅱ－実習を通じた学生の学び－	共著	2023. 2	『仙台白百合女子大学教職課程研究センター報』第2号	千凡晋・四家昌博		13～18
5. 手作り人形劇を通じた保育実践力の育成と地域貢献活動としての可能性	単著	2024. 3	全国大学造形美術教育教員養成協議会『大学造形美術教育研究』22号 pp.			30～33
【その他(資料集)】						
1. 四季を楽しむ創造的な表現活動・遊びの資料集	共著	2021. 3	日本教育公務員弘済会「令和2年度日教弘奨励金助成研究」資料集			A4版(45頁)
2. 学生の学びの成果を生かした地域貢献の可能性－手作り段ボール遊具による地域の子どもの触れ合いを通して－	単著	2021・4	仙台白百合女子大学『東日本大震災の記憶』			A4版(7頁)
3. わが家族の2011年3月11日から15日を語る	共著	2021. 11	全国大学造形美術教育教員養成協議会『全美協メールマガジン』第43号			115～116

4. 親子で一緒に楽しめる造形表現・遊び	単著	2022. 2	「人間発達研究センター助成研究」成果資料集			A4 版 (28 頁)
5. 絵本『2 人の天使にあったボク』	共著	2024. 3	リーブル出版社			21.5 × 26.5 × 0.7 (32 頁)

翻訳						
翻訳書・翻訳論文等の名称	単訳 共訳	発行または発表 の年月 (西暦)	発行所、発表雑誌 (巻・号数) 等の名称	共訳者名 (共訳の場合)	監修者名と当該訳者 数 (監訳書の場合)	該当頁数
なし						

学術研究発表		
発表テーマ	発表年月 (西暦)	発表場所
1. 韓国と日本の毛筆による文字教育の比較研究－学習指導要領を中心に－	2008. 8	第 32 回 InSEA (国際美術教育学会) 世界大会 in 大阪 (単独・口頭発表)
2. 小学校美術科教科書の比較研究－韓国の第 1 次教育課程期のもものと日本の昭和 26 年版学習指導要領期のものを中心として－	2011. 9	日本教育大学協会全国美術部門協議会第 50 回大学美術教育学会宮城大会 (単独・ポスター発表)
3. 韓国の初等教育に於ける第 1 次教育課程「美術科」に関する研究－教科目標における韓・日・米の比較を中心に－	2013. 3	第 35 回美術科教育学会島根大会 (単独・口頭発表)
4. Effects of the artistic activities on mental and physical health in the elderly: Preliminary survey report (口頭発表)	2017. 6	第 4 回人間脳科学セミナー (単独・口頭発表)
5. Effects of the Artistic Activities on Mental and Physical Health		

in the Elderly	2018. 8	韓国心理学会第 72 回学術大会 (共同・ポスター発表)
6. 芸術活動が高齢者の心身健康に及ぼす影響に関する調査	2018. 9	日本心理学科第 82 回大会 (共同・ポスター発表)
7. 学生主導による表現活動の中心とした授業構成の事例	2019. 2	日本保育者養成教育学会第 3 回研究大会 (共同・口頭発表)
8. 学生主導による表現活動を中心とした授業構成の事例Ⅱ—領域表現 (音楽・身体・造形) と関連付けて—	2020. 2	日本保育者養成教育学会第 4 回研究大会 (共同・口頭発表)
9. 保育者養成課程における保育内容 (表現) の授業実践に関する一考察—造形表現における学生の自主的な学びを目指して—	2020. 2	日本保育者養成教育学会第 4 回研究大会 (共同・口頭発表)
10. 自然との関わりから芽生える自発的な表現活動の可能性—自然素材 (土粘土) を用いた造形活動を中心に—	2020. 11	日本自然保育学会第 5 回大会 (共同・口頭発表)
11. 保育者養成校における領域「表現」の遠隔授業の取り組み—ピアノと造形関連の実技系授業の事例—	2021. 3	日本保育者養成教育学会第 5 回研究大会 (共同・口頭発表)
12. 幼児教育・保育の現場で活用できる総合的な表現活動のプログラムの開発に向けて—授業実践と保育者と対象とするアンケートを通して—	2021. 3	日本保育者養成教育学会第 5 回研究大会 (共同・口頭発表)
13. 保育実践力の向上を目指した授業「保育表現技術」の実践—実習前後の発表会の成果を比較して—	2021. 3	日本児童学会令和 2 年度研究集会 (共同・口頭発表)
14. 親子で行う造形表現・遊びがもたらす効果について—活動前後のアンケート調査を通して—	2021. 3	日本児童学会令和 2 年度研究集会 (単独・口頭発表)

<p>15. 4年制大学における第2外国語（韓国語）教育の意義 -韓国語の学習意欲の向上を目指した授業実践を通して-</p>	<p>2022. 9</p>	<p>2022 日本東北地域韓国語教育者シンポジウム(4名・口頭発表) 資料集(pp. 76-111)</p>
<p>16. 保育者養成課程におけるESDの実践Ⅰ—SDGsと造形活動を結び付けた実践を通して—</p>	<p>2023. 3</p>	<p>日本保育者養成教育学会第7回研究大会(単独・口頭発表)</p>
<p>17. 保育者養成課程におけるESDの試みⅡ—SDGsと造形活動を結び付けた実践を通して—</p>	<p>2024. 3</p>	<p>日本保育者養成教育学会第8回研究大会(単独・口頭発表)</p>
<p>[作品出品]</p>		
<p>1. 「꽃이 피다 (花が咲く)」の他、7点</p>	<p>2009. 12. 1～6</p>	<p>異心圓 Vol. 2-1 ※アートホール招待展 ※日韓交流基金の助成により開催</p>
<p>2. 「隠れん坊」Ⅱ-2</p>	<p>2015. 10. 21～27</p>	<p>「日韓国交正常化 50周年記念」2015 日韓美術交流展 in 仙台 (駐仙台大韓民国総領事館) ※大韓国外交部支援助成により開催</p>
<p>3. 「숨바꼭질; 꼭 꼭 숨어라 (隠れん坊)」Ⅲ</p>	<p>2016. 9. 9～15</p>	<p>「韓日国交正常化 50周年記念」2016 韓日美術交流展 in 全州— 疎通— (全北芸術会館) ※全羅北道文化観光財団・(公財) 未来の東北博覧会記念国際交流基金の助成により開催</p>
<p>4. 「숨바꼭질; 꼭 꼭 숨어라 (隠れん坊)」Ⅳ</p>	<p>2018. 1. 17～23</p>	<p>Good works good life 展 (韓国・ギャラリーSUN)</p>
	<p>2019. 2. 12～24</p>	<p>short short piece—仙台アーティストランプレイス小品展— (ギャラリーSARP)</p>

5. 「アイ (愛・I・子ども)」 の他、6 点	2019. 6. 18～23	取っ替ゑ、引っ替ゑ、すり替ゑ展 (ギャラリーSARP)
6. 「No title」 の他、8 点	2020. 10. 15～ 12. 9	「2020 韓一日交流展 in 全州」 - Across and Connect Endless- (ギャラリーSeohak) ※韓国国民体育振興基金の「2020 年展示空間活性化支援事業」の助成により開催
7. 「隠れん坊 2020: 'UTC+9」 の他、3 点		
8. 「隠れん坊 2021: 'UTC+9」 光」 の他、2 点	2021. 11. 27～ 12. 2	2021 年日韓美術交流展 in Sendai-TRUST- (東京エレクトロンホール) ※大韓国外交部支援助成により開催
9. 「Blessing」	2022. 3. 8～13	取っ替ゑ、引っ替ゑ、すり替ゑ展Ⅷ ((ギャラリーSARP) ※ウクライナ支援チャリティー展示

II 所属学会		
学会名	役職	入会年月 (西暦)
社団法人日本美術教育連合		(2006 年～2008 年)
美術科教育学会		(2006～2015 年)
大学美術教育学会		(2008～現在)
日本臨床美術学会		(2013～2022 年)
日本心理学会		(2018～2022 年)
日本保育者養成教育学科		(2018～現在)
全国大学造形美術教育教員養成協議会		(2019～現在)
日本老年社会科学会		(2019～現在)

Ⅲ 研究費の助成を受けた研究（過去5年間）				
助成機関名	助成を受けた年度 （西暦）	助成プログラム	研究テーマ	助成金額 （円）
公益財団法人 日本教育公務員弘済会	2020	日教弘本部奨励金	乳幼児教育の現場で活用できる総合的な活動のプログラムの開発及びそのデータベースの作成	650,000円
人間発達センター	2020	研究助成	家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発	192,000円
	2021	研究助成	家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発（継続）	128,800円
	2022	研究助成	日本における幼少年期の芸術表現遊び・教育の実態調査+	188,900円
全国保育士養成協議会東北ブロック	2023	研究助成	保育者養成課程におけるESDの試み—SDGsと造形活動を結び付けた実践を通して—	100,000円

3. 特記事項

<p>（非常勤講師）</p> <ol style="list-style-type: none"> 東北学院大学非常勤講師（2015.4～2017.3） 東北学院大学非常勤講師（2020.4～現在） 東北福祉大学非常勤講師（2017.9～2018.3） 韓国教育院主催・子ども韓国語教室「ハングル学校宮城」非常勤講師（2015.4～2017.3） 東北福祉大学【アジア共同体に向けて】非常勤講師（2019.11.27 / 2020.12.9 / 2021.11.24） 東北福祉大学【ユーラシア共同体に向けて】非常勤講師（2023.12.13/2022.12.7/2021.11.24/2020.12.5） <p>（講演会・研修会）</p> <ol style="list-style-type: none"> 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師（2015.5） 宮城県警察学校専科韓国語講座（2015.6） 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師（2016.2） 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師（2017.10） 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師（2018.8） 東北管区警察本部（2018.8） 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師（2019.2） 台湾・高雄国立大学【亞洲共同體專題講】での講演：「座亞洲各國高齡人口問題和发展藝術活動之可能性」（2019.10）

9. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2020. 1/2)
10. 明石南子どもの城保育園の職員研修 (2020. 11)
11. 台湾・高雄国立大学【亞洲共同體專題講】での講演：「座亞洲各國高齡人口問題和發展藝術活動之可能性」(2020. 11. 25)
12. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2021. 1/2)
13. 明石南子どもの城保育園の職員研修 (2回) (2021. 1/2021. 9)
14. 「ようこそ！韓国絵本の世界へ」講演会/企画及び司会・進行(2021. 6/7/8/9/12/12) (主催：駐仙台大韓民国総領事館・仙台白百合女子大学)
15. 明石南子どもの城保育園の職員研修 (2022. 1)
16. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2022. 1/2)
17. 2022 日本東北地域韓国語教育者シンポジウムでの講演：「4年制大学における第2外国語(韓国語)教育の意義-韓国語の学習意欲の向上を目指した授業実践を通して」(2022. 9. 17)
18. 令和4年度児童文化普及事業「児童文化講座」(主催：宮城県子ども総合センター)の講師(2022. 10. 7:まなウェルみやぎ1・2研修室/ 10. 21:まほろばホール大会議室)
19. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2023. 2)
20. 宮城県警察通訳センター外国語研修会の韓国語講師 (2024. 2)

(公的文の翻訳)

- 宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2016. 12)
- 青森県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2017. 8)
- 宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2017. 12)
- 宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2018. 3)
- 宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2018. 12)
- 宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2019. 12)
- 宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2020. 2)
- 宮城県警察本部依頼：市民・外国人対象の案内文の翻訳 (2021. 3)

(研究関連)

1. 東北大学加齢医学研究所研究員 (2017. 4~2018. 3) / 現在、分野研究員

研究テーマ：「芸術活動が高齢者の心身研究に及ぼす影響」、現在進行中。

2. 東北地域の韓国学のための研究メンバー（2018.11～2020.3）

- ・研究テーマ：日本東北地域内韓国学の基盤造成：災害と在日韓国人を中心に
- ・研究メンバー：東北大学を基盤施設とし、東北内の三つの大学の教員が研究メンバーとして参加
- ・韓国学振振興事業研究助成金「海外韓国学種型事業」の助成金の選定

（研究助成による研究）

1. 【日教弘本部奨励金（公益財団法人 日本教育公務員弘済会）】

研究テーマ：「乳幼児教育の現場で活用できる総合的な活動のプログラムの開発及びそのデータベースの作成」（共同研究）

研究メンバー：四家昌博・千凡晋・仁藤喜久子・大木葉子

2. 【人間発達センター研究助成】

- 1) 研究テーマ：「家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発—共働きの家族を対象に—」（単独研究）（2020）
- 2) 研究テーマ：「家庭で親子が楽しめる造形表現・遊びの教材・プログラムの開発—学生指導と ICT を活用した情報発信の可能性を探って—」（単独研究）（2021）
- 3) 研究テーマ：「子どもを対象とする芸術表現遊び・教育プログラムの開発」—日本における幼少年期の芸術表現遊び・教育の実態調査+—（共同研究）（2022）

3. 【全国保育士養成協議会東北ブロック 研究助成】（単独研究）（2023）

研究テーマ：保育者養成課程における ESD の試み—SDGs と造形活動を結び付けた実践を通して—

（国際交流）

1. 『『日本国交正常化 50 周年記念』2015 年日韓美術交流展 in 仙台』（駐仙台大韓民国総領事館助成事業選定）の企画・運営（2015.9）
2. 『『日本国交正常化 50 周年記念』2016 年日韓美術交流展 in 全州』（全羅北道文化観光財団・（公財）未来の東北博覧会記念国際交流基金の助成）の企画・運営（2016.10）
3. 国際交流センター：本学と国際流をしている韓国大学との協定・韓国短期留学（誠信女子大学）のサポート（2019.3.3～6）
4. 2019 年 ASEACCU 参加（韓国・Sogang Univ. 2019.9.20～23）
5. 人間発達学科と誠信女子大学幼児教育科との交流の企画・窓口・実行（2019.3～現在）
6. 人間発達学科の海外教育・保育現場体験研修の企画・実行（2020.9月に予定していたが、Covid19により2023年度に延期）
7. 韓日交流展示会「韓日交流展—交叉と連結」（韓国文化芸術連合会展示支援事業選定）/日本側作家代表及びシンポジウム企画、運営（2020.10.15～12.9）
8. 日韓交流展示会「2021 年日韓美術交流展」（駐仙台大韓民国総領事館助成事業選定）/展示会の企画・運営及び実行委員会の代表（2021 年 11 月 27 日～12 月 2 日東京エレクトロンホールでの開催）
10. 「ようこそ！韓国絵本の世界へ」講演会（6 月 12 日/7 月 10 日/8 月 7 日/9 月 11 日/12 月 4 日/12 月/18 日）
（主催：駐仙台大韓民国総領事館・仙台白百合女子大学）
11. ボランティア団体「東北日韓友好交流連合会」の創立メンバー（顧問）（2022.4～2023.3）

(地域貢献)

1. 授業で製作した段ボール遊具を保育所「明石南子どもの城」に寄付 (2019. 1. 29)
2. 「泉マルシェ 2019」に参加し、本学のブースに訪問した子どもたちにフェイス・ペインティングを行う。(2019. 9. 14)
3. 授業で製作した段ボール遊具を認定子ども園「とみや杜の橋子ども園」に寄贈 (2019. 12. 19)
4. 授業で製作した段ボール遊具を「明石南子どもの城」「桂子どもの城」に寄贈 (2020. 2. 9)
5. 子どもを対象として手作り人形劇の実演「明石南子どもの城」(2021. 11. 18) / 「桂子どもの城」(2021. 12. 16)
6. 授業で製作した段ボール遊具を「アルシュ富谷子ども園」に寄贈 (2022. 5. 16)
7. 授業で製作した段ボール遊具を「泉チェリー第2認定こども園」に寄贈 (2022. 12. 15)
8. 子どもを対象として手作り人形劇の実演: 「森のプーさん保育園」(2022. 9. 28) / 「明石南子どもの城子ども園」(2022. 10. 12) / 「泉第2チェリー子ども園」(2022. 10. 19) / 「鶴ヶ丘マミー子ども園」(2022. 11. 2)
9. 授業で製作した段ボール遊具を「明石南子どもの城」に寄贈 (2023. 12. 14)
10. 子ども・近隣の住民を対象として手作り人形劇の実演: 「泉第2チェリー子ども園」(2023. 7. 21) / 「児童館フェスタ」(2023. 7. 22) / 白百合祭 (2023. 10. 21) / 「白百合ミニコンサート」(2023. 10. 26) / 「鶴ヶ丘児童館」(2023. 11. 2) / 「森のプーさん保育園」(2023. 12. 7) / 「明石南子どもの城こども園」(2023. 12. 14) / 「桂こどもの城こども園」(2024. 1. 12) / 「仙台白百合学園幼稚園」(2024. 1. 19) / 「ゆりっこひろば」(2024/1/26)
11. 石巻市日和幼稚園遺族会依頼により仙台白百合女子大学絵本制作プロジェクトチームを結成し、絵本『2人の天使にあったボク』(リーブル出版社、2024. 3 発行) を制作。

(その他)

1. (学科横断ゼミ構想) 2021 年度「SPAC ゼミ」の学内協力メンバー (代表: 菅原詩緒理先生)
2. (FD 研修) 仙台白百合女子大学 2020 年度教職員合同研修会において「遠隔授業の取組事例」として造形実技授業の事例を報告。
3. 宮城県大学における韓国人教員グループが結成され、メンバーとして活動 (2023. 6~現在)